



水上中学校最後の球磨人吉秋季中体連陸上競技大会

力の限り頑張りました!

今月8日(木)に球磨人吉秋季中体連陸上競技大会が開催されました。水上中としての最後でもあります。この大会そのものも今年で最後でした。主な結果は、以下のとおりです。

種目名	結果等
2年男子1500m	3位 (県大会出場)
2年女子800m	4位
2年女子100m	6位
低学年女子400mR	6位

以上の4つの種目で入賞を果たしましたが、他の当日参加した生徒たちもみんな、全力で競技したり、応援したりしていました。



夏の暑い中、部活動や学習もやりながら、練習を頑張ってきました。その練習から当日までを含めて、みんなの健闘を称えたいと思います。

私、松原が中学生くらいの頃、カレンダーによく名言のようなものが書いてあるのがありました。その中で、今でも空で言える言葉があります。それは「**耐え忍ぶことの尊さはそれを乗り越えた者にしかわからない**」です。



頑張ってきた人たちにピッタリ当てはまるものではないでしょうか。間違いなく、強く、たくましく成長していることと思います。



そして、来月の駅伝競走大会でも、しっかり力を発揮してほしいと思います。

ちなみに、なぜ今回でこの大会が最後かと申しますと、来年度から熊本県中学校総合体育大会陸上競技大会を他の競技と同じように、夏季開催に移行されるからだという事です。



全国学力・学習状況調査の結果から

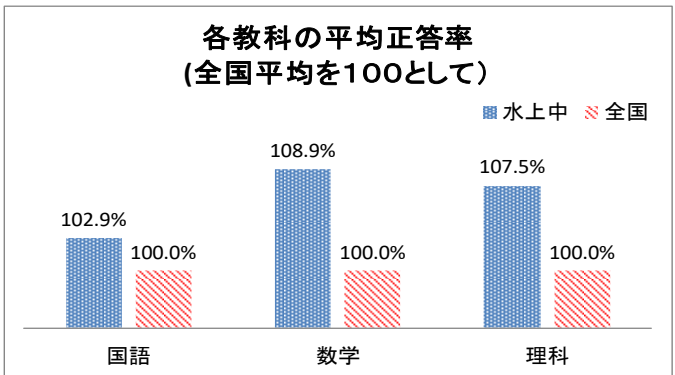
成果も課題も見られました!

Part 1

4月19日に3年生が標記の調査を受けました。その結果が届きましたが、県や全国と比較して、上回る結果がたくさん見られました。今号と次号の2回に分けて主要内容の結果や今後の課題等をお伝えしたいと思います。

学力調査の教科は国語と数学と理科の3教科でした。学習状況調査は生活や学習などのことについてアンケートに回答する形式で行われました。

学力調査の結果は以下のとおりです。



このように、3教科とも全国平均を上回ることができました。

さらに、もう少し細かく見ると、以下のような結果が見られました。

教科	上段：好結果	下段：課題 ※全国と比較して
国語	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項
数学	データの活用、数と式	関数
理科	「地球」、「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域

また、問題形式において、「記述式」や「短答式」の『書いて答える』問題の正答率が高く、無回答(記入しない)率が全体的にかなり低い傾向が、どの教科にも見られ、『粘り強く答えようとする姿』が浮かび上がりました。しかし、「選択式」の正答率が低い、というのは何が原因なのでしょうか。追究してみたいと思います。